

キーボード記号 &英字マスター

— 記号 63 種類＋読み方＋入力方法＋練習ワーク付き —

パソコン
初心者さん、
シニアの方
にも
安心です。



PDF 教材

目次

1. はじめに.....	3
1-1 この教材が役に立つのは、こんな方です.....	3
1-2 効率よく学ぶための使い方.....	4
1-3 はじめにの最後に	4
2. キーボードの基本構造.....	5
2-1 キーボードは大きく3つのエリアに分かれています	5
❶ 文字入力エリア（メインキー）	5
❷ 編集・操作キーエリア.....	5
❸ 補助キーエリア	5
2-2 なぜ「構造」を知ることが大切なのか.....	6
2-3 外付けキーボードとノートパソコンの違い	6
 外付けキーボード	6
 ノートパソコンのキーボード	6
3. 記号の読み方・入力方法 一覧（全63種類）	7
3-1 よく使う記号（基本編）	7
3-2 インターネット・メールでよく使う記号.....	9
3-3 数式・プログラム・設定で使う記号	11
3-4 かっこ類	13
3-5 その他（文書作成・ITで使われる記号）	14
3-6 英字キー 一覧.....	15
3-7 この章の使い方	18
4. 記号の「用途」完全ガイド.....	19
4-1 メールアドレスに使う記号.....	19
4-2 ファイル名で使える記号／使えない記号.....	20
✕ 使えない記号（代表例）	20
○ 使える記号（例）	20
4-3 Word・Excelで使う記号.....	21
4-4 ITでの特別な意味を持つ記号	22
5. すぐに身につく練習ワーク.....	23

5-1 記号を入力してみよう（問題 20 問）	23
【問題】	23
【正解・解説】	24
5-2 正しい記号を選ぶクイズ（読み方テスト）	25
【問題】	25
【正解・解説】	25
5-3 文章から記号を入力する練習	26
【問題】	26
【正解・解説】	26
5-4 キーボードを見ずに入力する練習（PDF 印刷用ワーク）	27
【問題】	27
【正解・解説】	27
5-5 このワークのゴール	28
6. トラブル解決 Q & A	29
6-1 記号が入力できないとき	29
【こんなときありませんか？】	29
【考えられる原因】	29
【ゆっくり順番にやってみましょう】	29
6-2 US 配列になってしまったとき	30
【こんな様子なら要注意】	30
【設定を元に戻す方法（Windows）】	30
6-3 全角入力が勝手に入る場合	32
【こんな困りごと】	32
【よくある原因】	32
【全角入力が勝手に入るときの直し方】	32
6-4 特殊記号が文字化けする理由と対処	36
【よくあるケース】	36
【理由】	36
【困ったときの対処法】	36
7. まとめと次のステップ	37
7-1 今日からできる時短テク	37
7-2 もっと入力が速くなる設定	37
8. 付録	38
8-1 記号一覧表（A4 印刷用）	38
8-2 英字読み方一覧（A4 印刷用）	40

1. はじめに

この教材をご覧ください、ありがとうございます。

「**どこでもパソコン教室 四日市**」の**代表・インストラクターの美香**です。

インターネットサービスプロバイダー（ISP）のカスタマーサポートセンターでの勤務を経て、大手パソコンスクールにて教室型レッスンのインストラクターとして指導にあたってきました。

また、同スクールは当時職業訓練（基金訓練）の指定校でもあり、その講師としての経験も有しています。

パソコン指導歴は 20 年以上。現在は訪問レッスンやブログを通じて、パソコンの基本操作にお困りの方を中心に、わかりやすく丁寧なサポートを行っています。

パソコンを使っていると、

「見たことはあるけれど意味がわからない**記号**」や「押していいのか不安になる**マーク**」に出会うことがよくあります。

本教材は、そんな“ちょっと聞きたいけれど、わざわざ人には聞きにくい”**記号の意味**と**入力方法**を、一つずつ丁寧に解説することを目的としています。

1-1 この教材が役に立つのは、こんな方です

- パソコンに苦手意識がある
- **記号の意味**がわからず、操作が不安になる
- チラッと見かけた**マークの役割**を毎回ネット検索してしまう
- レッスンのたびに説明してもらっても、家に帰ると**忘れてしまう**
- **仕事でパソコン操作**が必要になり、基礎からしっかり理解したい

特に、

「自分のペースで落ち着いて理解したい」
という方のために、イラストや具体例を交えてわかりやすくまとめています。

1-2 効率よく学ぶための使い方

この教材は、最初から順番に読むだけでなく、

「辞書のように必要なところだけ確認する」使い方も想定して作っています。

おすすめの使い方は次の3つです。

1. まずは見出しをざっと確認

どんな記号が載っているのか全体像を知ることで、必要な情報が探しやすくなります。

2. 気になった記号から読む

難易度順ではなく、知りたい順に読める構成にしています。

3. 印刷して手元に置いておく

困ったときにすぐ見返せる「マイ辞書」として活用できます。

本教材は、できるだけ多くの方に安心してご利用いただけるよう、

一般的なパソコン環境をもとに作成しています。

ご使用の環境によって画面表示が異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。

1-3 はじめにの最後に

パソコンは、正しい知識を身につけると驚くほどラクに使えるようになります。

この教材が、あなたの日々のパソコン作業を

少しでも安心して快適なものにするお手伝いになれば、とても嬉しく思います。

2. キーボードの基本構造

■ キーボードは、一見するとたくさんのキーが並んでいて複雑に見えますが、実は大きく分けると「役割ごと」に整理されています。

構造を理解することで、キーの場所が覚えやすくなり、操作の迷いも減っていきます。

2-1 キーボードは大きく3つのエリアに分かれています

一般的な■キーボードは、主に次の3つのエリアで構成されています。



① 文字入力エリア（メインキー）

アルファベットや数字、記号が配置されている、最もよく使う部分です。文章の入力やメール作成、検索など、日常的な操作の中心になります。

② 編集・操作キーエリア

文字の削除や変換、移動などを行うキーが集まっている部分です。例えば、**Enter** キー、**Backspace** キー、**Delete** キー、**矢印** キーなどが該当します。

③ 補助キーエリア

入力や操作を「補助」する役割を持つキー群です。**Shift** キー、**Ctrl** キー、**Alt** キー、**Windows** キーなどがあり、他のキーと組み合わせて使うことで便利な操作ができるようになります。

2-2 なぜ「構造」を知ることが大切なのか

「このキーはここにある」と一つひとつ覚えるのは大変ですが、
「このエリアはこういう役割」と理解しておく、
初めて見る  キーボードでも迷いにくくなります。

 キーボードはパソコン操作の地図のようなものです。

地図の全体像を先に知ること、目的のキーにたどり着きやすくなります。

2-3 外付けキーボードとノートパソコンの違い

パソコンには大きく分けて  2種類のキーボードがあります。



外付けキーボード

デスクトップパソコンなどで使用する独立型のキーボードです。

キーの数が多く、操作キーが独立しているため、機能がわかりやすいという特徴があります。

ノートパソコンのキーボード

本体に内蔵されており、キーの数が少なめでコンパクトに配置されています。

一部のキーが省略されたり、**Fn** キーとの組み合わせ操作が必要な場合があります。

どちらの場合でも、基本となるキーの役割は同じです。

3. 記号の読み方・入力方法 一覧（全 63 種類）

パソコンやスマートフォンでは、文字だけでなく多くの「記号」を使います。

記号は見慣れないと難しく感じますが、名前・意味・使いどころが分かれば心配いりません。

この章では、実際によく使われる記号を中心に、

読み方・使われる場面・入力の考え方をわかりやすく整理しています。

※ 記号の👉入力方法は、ローマ字入力モードを基準に、

🖨️ キーボード上の 数字・ひらがな・記号 キーを使って表現しています。

3-1 よく使う記号（基本編）

日常的な文章入力やメールで、特によく目にする記号です。

	@（アットサイン、アットマーク） 主にメールアドレスで使われます。「～あっと～」と読みます。 👉入力方法 @ キーをそのまま押します。
	。（ピリオド、ドット） 文の区切りや、インターネットのアドレス（URL）などで使われます。 👉入力方法 . キーをそのまま押します。
	，（カンマ、コンマ） 文章や数字を区切るための記号です。 👉入力方法 , キーをそのまま押します。
	！（エクスクラメーションマーク、ビックリマーク） 驚きや強調を表します。 👉入力方法 Shift キーを押しながら 1 キーを押します。